

I 病院経営収支調査の概要

1 調査の目的、方法等

(1) 調査の目的

病院の経営成績及び財政状態を継続的に把握して医療行政の基礎資料を得るとともに、経営管理の指標を作成して病院の健全な運営に資するためのひとつの参考資料とすることを目的とする。

(2) 調査の対象

本調査は、医療法第31条に規定する公的医療機関及び社会保険関係団体の開設する1,515病院を対象とし、本年度は、1,402病院について集計を行った。

(3) 調査の方法

平成15年度における各病院の損益状況（損益計算書）及び平成16年3月31日現在の財政状態（貸借対照表）等に関する調査票を、厚生労働省医政局がそれぞれの団体及び病院の協力を得て回収し集計した。

(4) 分析区分

① 黒字、赤字別

医業収支をベースとして、医業収益が医業費用を上回ったものを黒字、医業収益が医業費用を下回ったものを赤字とした。

② 開設者別

- ・自治体病院…………… 都道府県、市町村等の地方公共団体が開設する病院
- ・その他公的病院…………… 日赤、済生会、厚生連、北社協が開設する病院
- ・社会保険関係団体病院 …… 全社連、厚生年金事業振興団、船員保険会、各種共済組合及びその連合会等の社会保険関係団体が開設する病院

③ 病院の種類

次の条件で6つに区分した。

- ・一般病院 ……………… 他の5つの区分以外の病院
- ・長期慢性型病院 …… 一般・療養病床が全体の80%以上を占める病院で、平均在院日数が90日以上の病院
- ・特殊専門病院 …… 一般・療養病床が全体の80%以上を占める病院で、救命救急センター、がん、循環器、小児、リハビリ、難病等の専門病院及び医育機関の病院
- ・精神病院 ……………… 精神病床が全体の80%以上を占める病院
- ・結核病院 ……………… 結核病床が全体の80%以上を占める病院
- ・感染症病院 ……………… 感染症病床が全体の80%以上を占める病院

なお、財政状態（貸借対照表）を本部等で一括管理しているため、各病院ごとの貸借対照表を作成できない団体があるため、損益状況と財政状態の集計施設数が同数とはなっていない。

2 用語の説明等

(1) 病床数は、平成16年3月31日現在の許可病床数である。

(2) 経営に関する数値は、次の方法により算出した。

$$\text{1日平均入院患者数} = \frac{\text{在院患者延数}}{366日} \quad (\text{人})$$

・ 1日平均外来患者数	$\frac{\text{外来患者延数}}{\text{外来診療日数}}$	(人)
・ 病床利用率	$\frac{\text{1日平均入院患者数} \times 100}{\text{許可病床数}}$	(%)
・ 平均在院日数	$\frac{\text{在院患者延数}}{1/2 \times (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$	(日)
・ 外来／入院比 (患者数)	$\frac{\text{1日平均外来患者数}}{\text{1日平均入院患者数}}$	(人)
・ 患者1人1日当たり入院収益 (室料差額を除く)	$\frac{\text{入院収益}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$	(円)
・ 患者1人1日当たり入院収益 (室料差額を含む)	$\frac{\text{入院収益} + \text{室料差額}}{\text{在院患者延数} + \text{退院患者数}}$	(円)
・ 患者1人1日当たり外来収益	$\frac{\text{外来診療収益}}{\text{外来患者延数}}$	(円)
・ 患者100人当たり職員数	$\frac{\text{職員数合計} (\text{常勤} + \text{常勤換算の非常勤}) \times 100}{\text{1日平均入院患者数} + (1/3 \times \text{1日平均外来患者数})}$	(人)
・ 許可病床100床当たり職員数	$\frac{\text{職員数合計} (\text{常勤} + \text{常勤換算の非常勤}) \times 100}{\text{許可病床数}}$	(人)
・ 医師1人当たり入院患者数	$\frac{\text{1日平均入院患者数}}{\text{医師数合計} (\text{常勤} + \text{常勤換算の非常勤})}$	(人)
・ 医師1人当たり外来患者数	$\frac{\text{1日平均外来患者数}}{\text{医師数合計} (\text{常勤} + \text{常勤換算の非常勤})}$	(人)
・ 医業収支率	$\frac{\text{医業収益} \times 100}{\text{医業費用}}$	(%)
・ 経常収支率	$\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益}) \times 100}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}}$	(%)
・ 総収支率	$\frac{(\text{医業収益} + \text{医業外収益} + \text{特別利益}) \times 100}{\text{医業費用} + \text{医業外費用} + \text{特別損失}}$	(%)
・ 医業利益率	$\frac{\text{医業利益} \times 100}{\text{医業収益}}$	(%)
・ 経常利益率	$\frac{\text{経常利益} \times 100}{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}$	(%)

・ 純利益率	$\frac{\text{当期純利益} \times 100}{\text{医業収益} + \text{医業外収益} + \text{特別利益}}$	(%)
・ 入院1人1日当たり給食材料費	$\frac{\text{給食用材料費}}{\text{在院患者延数}}$	(円)
・ 職員1人当たり医業収益	$\frac{\text{医業収益}}{\text{職員数合計 (常勤+常勤換算の非常勤)}}$	(円)
・ 職員1人当たり給与費	$\frac{\text{給与費}}{\text{職員数合計 (常勤+常勤換算の非常勤)}}$	(円)
・ 付加価値率	$\frac{(\text{医業収益} - (\text{材料費} + \text{経費} + \text{委託費} + \text{減価償却費})) \times 100}{\text{医業収益}}$	(%)
・ 付加価値労働分配率	$\frac{\text{給与費} \times 100}{\text{医業収益} - (\text{材料費} + \text{経費} + \text{委託費} + \text{減価償却費})}$	(%)
・ 付加価値労働生産性	$\frac{\text{医業収益} - (\text{材料費} + \text{経費} + \text{委託費} + \text{減価償却費})}{\text{職員数合計 (常勤+常勤換算の非常勤)}}$	(円)
・ 許可病床100床当たり総資産額	$\frac{\text{資産合計} \times 100}{\text{許可病床数}}$	(円)
・ 許可病床100床当たり建物構築物	$\frac{\text{建物} \times 100}{\text{許可病床数}}$	(円)
・ 許可病床100床当たり器械備品	$\frac{\text{器械備品} \times 100}{\text{許可病床数}}$	(円)
・ 総資本回転率	$\frac{\text{医業収益} \times 100}{\text{負債・資本合計}}$	(%)
・ 流動比率	$\frac{\text{流動資産合計} \times 100}{\text{流動負債合計}}$	(%)
・ 自己資本比率	$\frac{\text{資本} \times 100}{\text{負債・資本合計}}$	(%)
・ 許可病床1床当たり医業収益額	$\frac{\text{医業収益}}{\text{許可病床数}}$	(円)
・ 給与費率	$\frac{\text{給与費} \times 100}{\text{医業収益}}$	(%)

3 結果表を見る場合の注意事項

結果表における平均値又は100分率等で表示した部分の数値において、総数とその内訳が一致しない場合があるが、これは数値算出の際の端数処理によるものである。